

2022年度 第3四半期決算

説明資料

2023年2月3日（金）

2022年度 第3四半期決算概要

連結対象会社

項目	2021年度末 (A)	2022年度 第3四半期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	65社	36社	△29社	<ul style="list-style-type: none"> + 株式会社エーピーアイコーポレーション - 明和化成株式会社 - UBE Advanced Materials INC. - 有限会社アールコマ - 宇部建設資材販売株式会社 - 宇部興産建材株式会社 - 宇部興産セメントサービス株式会社 - 宇部マテリアルズ株式会社 - 小澤商事株式会社 - 関東宇部コンクリート工業株式会社 - 関東生コン輸送株式会社 - サンヨー宇部株式会社 - 大協企業株式会社 - 株式会社ニシハリマ宇部 - 萩森物流株式会社 - 株式会社富士宇部 - 北海道宇部運送株式会社
持分法 適用会社数	26社	15社	△11社	<ul style="list-style-type: none"> - 宇部三菱セメント株式会社 - 鹿野宇部コンクリート工業株式会社 - 株式会社釧路宇部 - 別海宇部コンクリート工業株式会社 - やまよ商事株式会社 - 千葉リバーメント株式会社
計	91社	51社	△40社	<ul style="list-style-type: none"> + MAPIC Europe NV - 宇部興産開発株式会社 - Advanced Electrolyte Technologies LLC - 一関レミコン株式会社 - 宇部興産海運株式会社 - 宇部興産コンサルタント株式会社 - 宇部サンド工業株式会社 - 株式会社大分宇部 - 株式会社関西宇部 - 株式会社関東宇部ホールディングス - 三信通商株式会社 - 新興運輸倉庫株式会社 - 千葉宇部コンクリート工業株式会社 - 萩森興産株式会社 - 株式会社平泉 - 株式会社北海道宇部

環境要因

項目			2021年度 第3四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	111.1	136.5	25.4	
資材 価格	ナ フ サ	CIF	\$/ t	674	830	156
		国産	円/KL	54,000	79,900	25,900
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	977	1,073	96
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	156.5	407.5	251.0
			円/t	17,387	55,628	38,241

主要項目

(単位：億円)

項目	2021年度 第3四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,766	3,684	△ 1,082	△ 22.7%
営業利益	328	130	△ 199	△ 60.5%
経常利益	306	△ 33	△ 339	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	181	△ 12	△ 193	—

セグメント別 売上高/営業利益

(単位：億円)

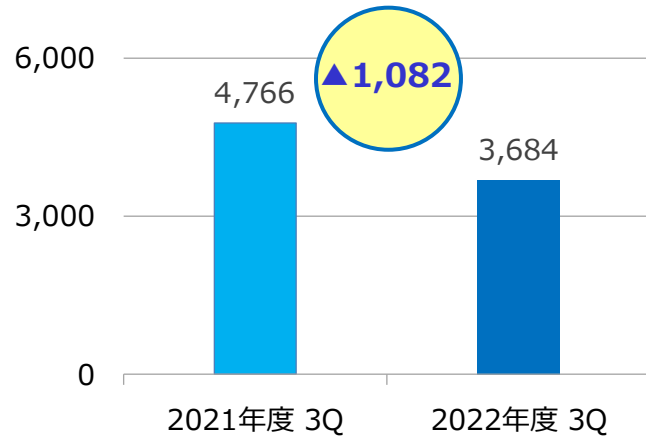
	セグメント*	2021年度 第3四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	449	474	26	5.7%
	樹脂・化成品	1,904	2,252	348	18.3%
	機械	708	693	△ 15	△ 2.1%
	その他	377	506	129	34.2%
	調整額	1,329	△ 241	△ 1,570	—
	計	4,766	3,684	△ 1,082	△ 22.7%
営業利益	機能品	88	85	△ 3	△ 3.0%
	樹脂・化成品	178	33	△ 146	△ 81.6%
	機械	32	26	△ 6	△ 18.6%
	その他	16	17	1	6.6%
	調整額	14	△ 31	△ 45	—
	計	328	130	△ 199	△ 60.5%

* : 2022年度より、セメント関連事業の持分法適用関連会社化に伴い、「化学」「建設資材」「機械」「その他」から「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分とし、「医薬」は「その他」に含めています。それに伴い2021年度第3四半期実績についても比較のため新しいセグメント区分に組み替えており、「建設資材」は「調整額」に含めています。

差異分析 全社

(単位：億円)

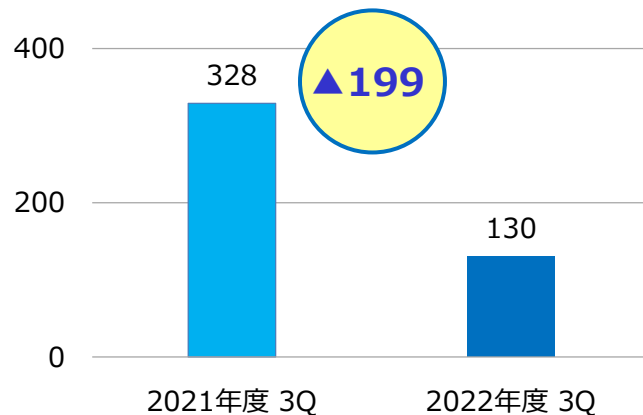
売上高



機能品	26
樹脂・化成品	348
機械	△ 15
その他	129
調整額	△ 1,570

△22.7% 減収

営業利益



機能品	△ 3
樹脂・化成品	△ 146
機械	△ 6
その他	1
調整額	△ 45

△60.5% 減益

定性情報

売上高：減収

- セメント関連 : 事業分割し持分法適用関連会社に移管
- 樹脂・化成品 : 原料市況上昇により販売価格が上昇

営業利益：減益

- 機能品 : 全般的に販売が堅調
- 樹脂・化成品 : 原燃料価格上昇、需要減退による販売数量減およびアンモニア工場の定期修理

営業利益差異

価格差 ※1 △ 30

数量差 △ 56

固定費ほか ※2 △ 113

計 △ 199

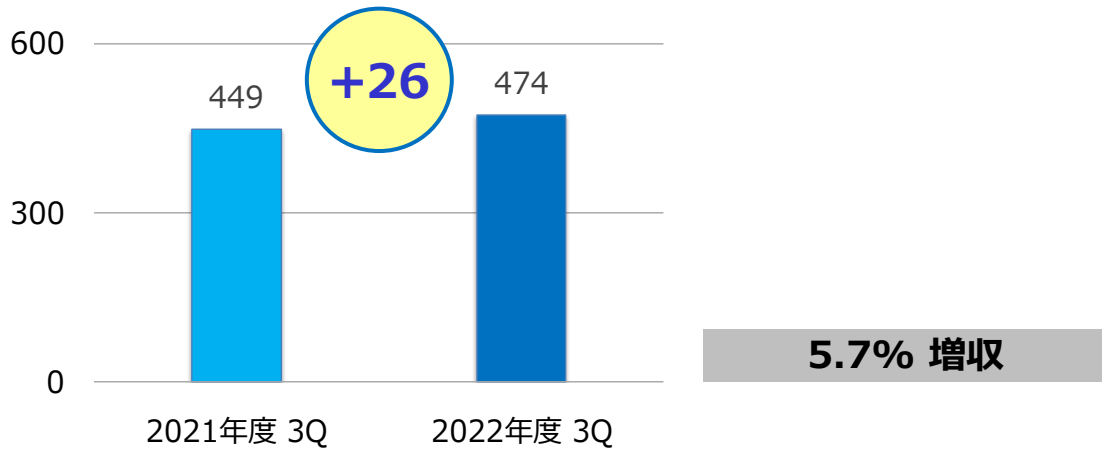
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む
セメント関連事業分割影響含む

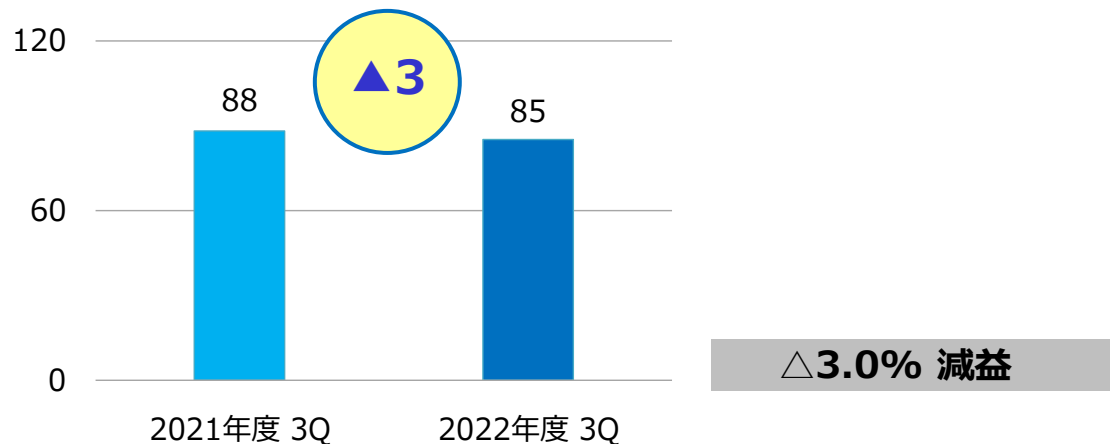
差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ポリイミド : ディスプレイ向けCOFフィルムが在庫調整の影響を受けるも、有機ELパネル向けワニスの販売が堅調
- 分離膜 : バイオガス関連用途を中心に需要が好調
- セラミックス : 軸受や基板用途の需要が好調
- セパレータ : 自動車減産の影響等により販売が減少

営業利益：減益

- 分離膜やセラミックスの販売が好調だが、セパレータが自動車減産の影響等を受ける

営業利益差異

価格差 ※1 △ 5

数量差 1

固定費ほか ※2 1

計 △ 3

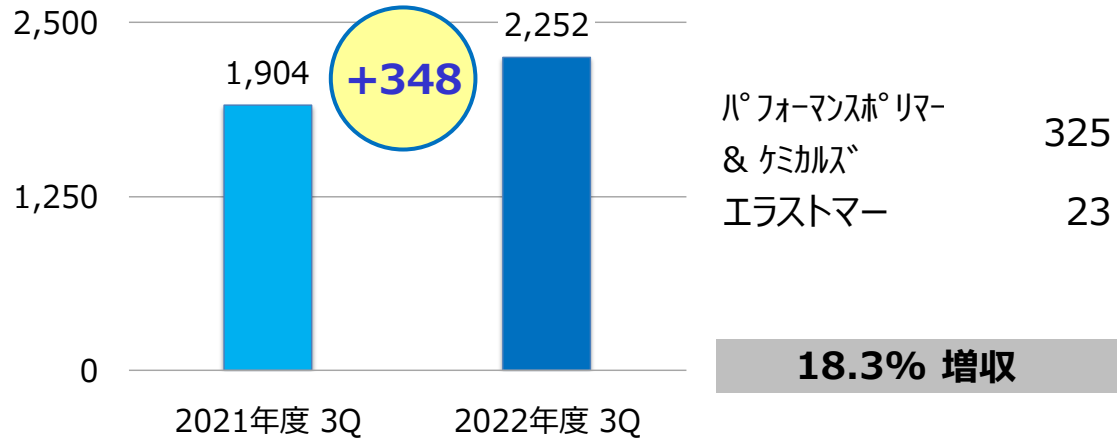
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

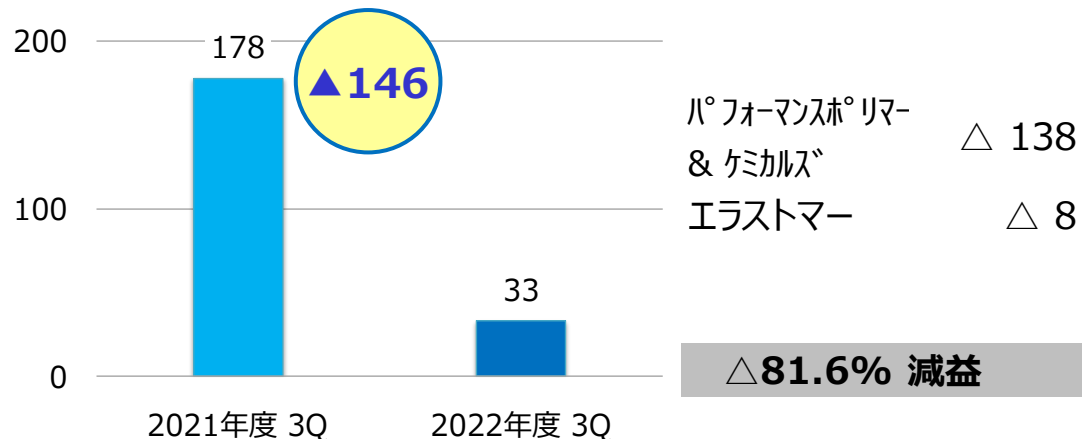
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ナイロンポリマー : 食品包装フィルム用途等の需要が海外で減速傾向にあるものの、原料市況上昇等により販売価格が上昇
- ラクタム・硫安 : 原料市況上昇等により硫安価格が上昇
- エラストマー : 原料市況上昇等により販売価格が上昇

営業利益：減益

- 原燃料価格上昇、需要減退による販売数量減およびアンモニア工場の定期修理

営業利益差異

価格差 ※1 △ 31

数量差 △ 61

固定費ほか ※2 △ 53

計 △ 146

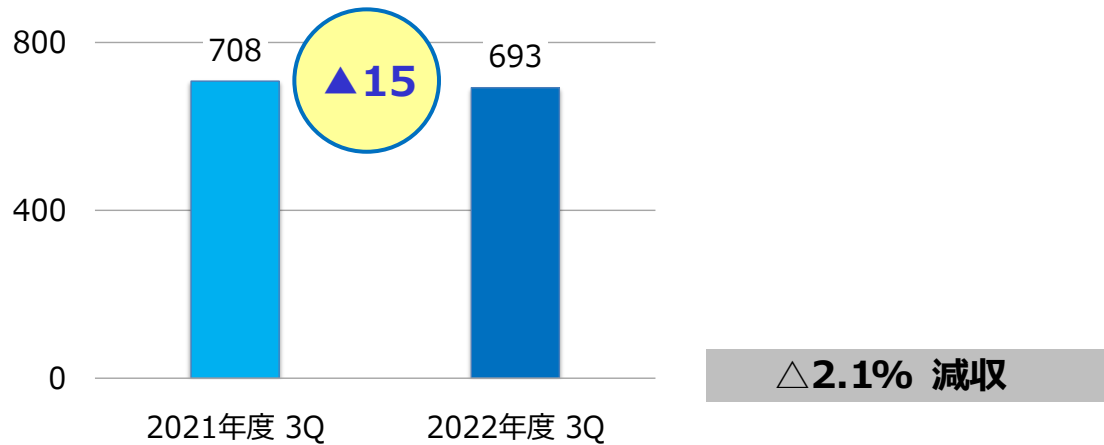
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

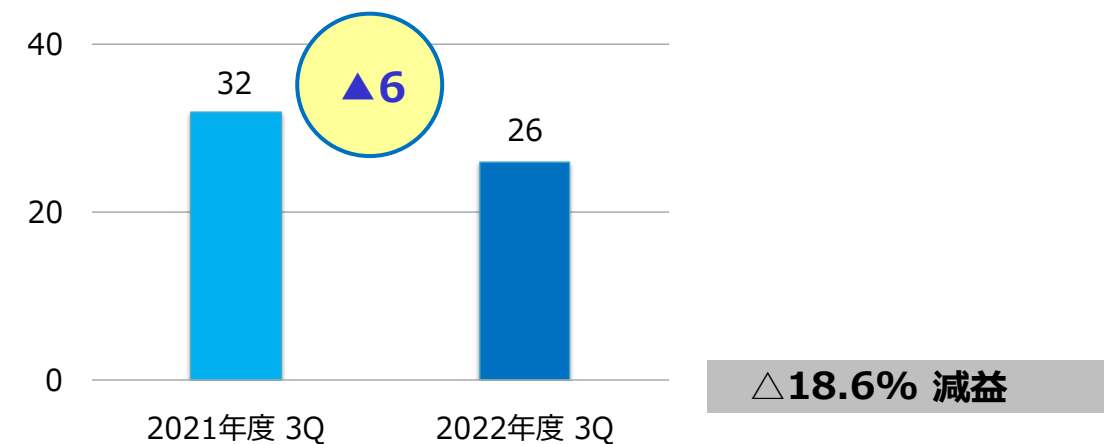
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 成形機 : 自動車産業向けの受注回復に伴い販売増加
- 産機 : 電力会社向け運搬機等の大型案件が一巡
- 製鋼 : 原料価格上昇等により販売価格が上昇

営業利益：減益

- 産機の減収および製鋼のエネルギーコスト上昇

営業利益差異

価格差 ※1	1
数量差	△ 3
固定費ほか ※2	△ 4
計	△ 6

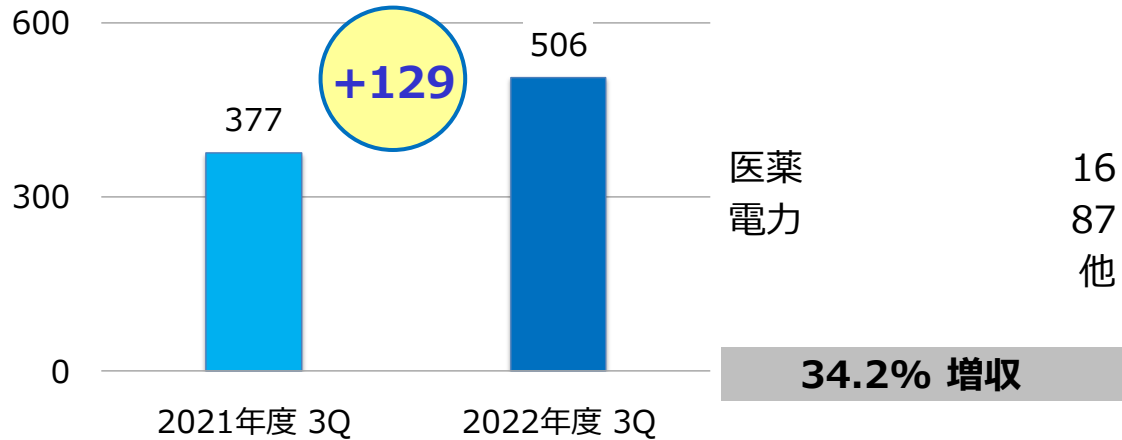
※1：資材単価差含む

※2：内、機械部門限界利益 0

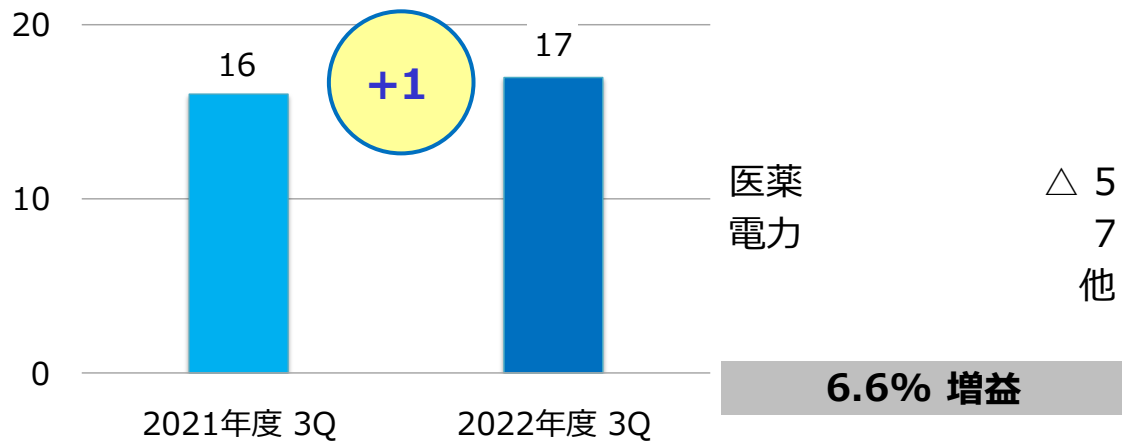
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 医薬 : 自社医薬品および受託医薬品の販売が堅調に推移
- ・ 電力 : セメント関連事業への電力供給を売上計上、売電価格も上昇

営業利益：増益

- ・ 売電価格の上昇

営業利益差異

価格差 ※1 5

数量差 7

固定費ほか ※2 △ 10

計 1

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～四半期純利益

(単位：億円)

項目	2021年度 第3四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	328	130	△ 199
営業外損益	△ 22	△ 163	△ 141
金融収支	2	8	5
持分法投資損益	△ 8	△ 151	△ 143
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益		△ 158	
為替差損益	7	6	△ 1
その他	△ 23	△ 25	△ 2
経常利益	306	△ 33	△ 339
特別損益	△ 25	75	100
税金等調整前四半期純利益	281	42	△ 239
法人税等・非支配株主利益	△ 100	△ 54	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	181	△ 12	△ 193
1株当たり四半期純利益	183.34円	△ 11.91円	△ 195.25円

貸借対照表

(単位：億円)

項目		2021年度末 (A)	2022年度 第3四半期末 (B)	差異 (B) - (A)
資 産	流動資産	3,947	2,905	△ 1,041
	固定資産	4,431	4,574	143
	合計	8,380	7,481	△ 898
負 債	有利子負債	2,418	2,227	△ 191
	その他負債	2,021	1,354	△ 667
		4,439	3,581	△ 858
純 資 産	自己資本*	3,691	3,666	△ 25
	非支配株主持分他	249	234	△ 15
	計	3,940	3,900	△ 40
負債・純資産合計		8,380	7,481	△ 898

* 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

項目	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	
A.営業活動によるCF	168	51	税金等調整前四半期純利益 42 減価償却費 189 持分法による投資損失 151 持分変動益 △83 運転資金の増減 △128 法人税等の支払 △84 他
B.投資活動によるCF	△ 276	△ 176	短期貸付金の増減 82 有形・無形固定資産の取得 △172 関係会社出資金の払込 △25 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 △52 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 108	△ 125	
C.財務活動によるCF	△ 196	87	有利子負債の増減 193 配当金の支払 △106 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 300	△ 464	会社分割に伴う減少 △433 他
E.現金及び現金同等物の四半期末残高	496	324	

2022年度 連結業績予想

連結対象会社

項目	2021年度末 (A)	2022年度末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	65社	37社	△28社	<ul style="list-style-type: none"> + 株式会社エーピーアイコーポレーション + UBE Corporation America Inc. - 明和化成株式会社 - UBE Advanced Materials INC. - 有限会社アールコマ - 宇部建設資材販売株式会社 - 宇部興産建材株式会社 - 宇部興産セメントサービス株式会社 - 宇部マテリアルズ株式会社 - 小澤商事株式会社 - 関東宇部コンクリート工業株式会社 - 関東生コン輸送株式会社 - サンヨー宇部株式会社 - 大協企業株式会社 - 株式会社ニシハリマ宇部 - 萩森物流株式会社 - 株式会社富士宇部 - 北海道宇部運送株式会社
持分法 適用会社数	26社	15社	△11社	<ul style="list-style-type: none"> - 宇部三菱セメント株式会社 - 鹿野宇部コンクリート工業株式会社 - 株式会社釧路宇部 - 別海宇部コンクリート工業株式会社 - やまよ商事株式会社 - 千葉リバーメント株式会社
計	91社	52社	△39社	<ul style="list-style-type: none"> + MAPIC Europe NV - 宇部興産開発株式会社 - Advanced Electrolyte Technologies LLC - 一関レミコン株式会社 - 宇部興産海運株式会社 - 宇部興産コンサルタント株式会社 - 宇部サンド工業株式会社 - 株式会社大分宇部 - 株式会社関西宇部 - 株式会社関東宇部ホールディングス - 三信通商株式会社 - 新興運輸倉庫株式会社 - 千葉宇部コンクリート工業株式会社 - 萩森興産株式会社 - 株式会社平泉 - 株式会社北海道宇部 - 北九州宇部コンクリート工業株式会社 - 中四国宇部コンクリート工業株式会社 - 北陸宇部コンクリート工業株式会社 - UBE Singapore Pte., Ltd. - 山口エコテック株式会社

環境要因

項目			2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	112.4	135.0 [130.0]	22.6	
資材 価格	ナ フ サ	CIF	\$/ t	702	790 [680]	88
		国産	円/KL	56,700	75,400 [63,400]	18,700
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	990	1,020 [865]	30
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	170.3	403.5 [390.0]	233.2
			円/t	19,133	54,473 [52,650]	35,340

[] は2023年1~3月のみの数値

主要項目

(単位：億円)

項目	2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	6,553	5,060	△ 1,493	△ 22.8%
営業利益	440	200	△ 240	△ 54.6%
経常利益	415	△ 60	△ 475	—
親会社株主に帰属する当期純利益	245	△ 60	△ 305	—

項目	2021年度末 (A)	2022年度末 (B)	差異 (B) - (A)
総資産	8,380	7,500	△ 880
有利子負債	2,418	2,250	△ 168
自己資本 *1	3,691	3,600	△ 91
年間配当金 (円/株)	*2 95.00	*3 95.00	0.00

*1: 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

*2: 95.00円 (中間配当金45.00円、期末配当金50.00円)

*3: 95.00円 (中間配当金50.00円、期末配当金45.00円)

セグメント別 売上高/営業利益

(単位：億円)

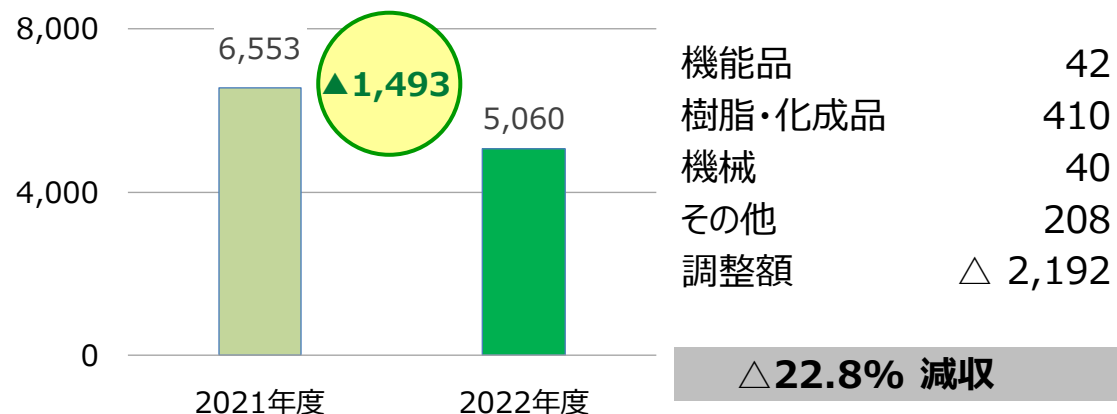
	セグメント*	2021年度	2022年度	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	608	650	42	6.9%
	樹脂・化成品	2,600	3,010	410	15.7%
	機械	970	1,010	40	4.1%
	その他	542	750	208	38.3%
	調整額	1,832	△ 360	△ 2,192	—
	計	6,553	5,060	△ 1,493	△ 22.8%
営業利益	機能品	116	130	14	11.8%
	樹脂・化成品	235	40	△ 195	△ 83.0%
	機械	51	45	△ 6	△ 12.3%
	その他	35	25	△ 10	△ 29.5%
	調整額	2	△ 40	△ 42	—
	計	440	200	△ 240	△ 54.6%

* : 2022年度より、セメント関連事業の持分法適用関連会社化に伴い、「化学」「建設資材」「機械」「その他」から「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分とし、「医薬」は「その他」に含めています。それに伴い2021年度実績についても比較のため新しいセグメント区分に組み替えており、「建設資材」は「調整額」に含めています。

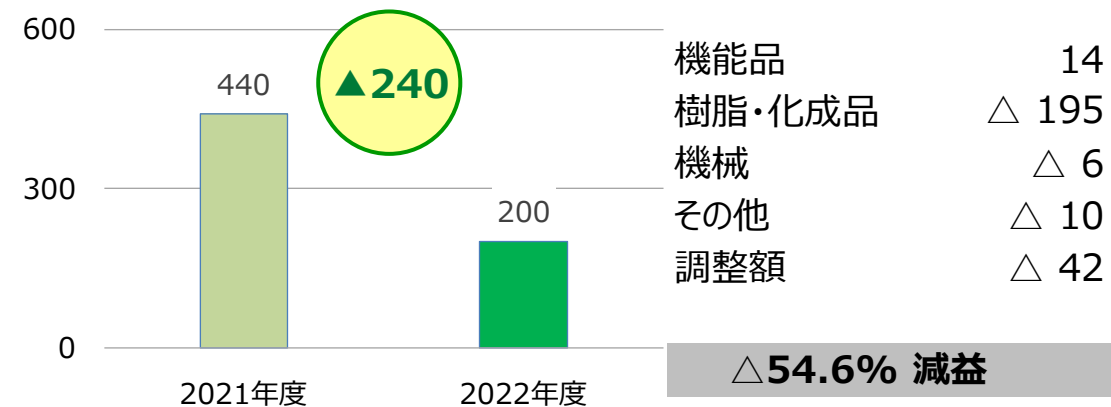
差異分析 全社

(単位：億円)

売上高



営業利益



10月28日に公表した業績予想からの修正

売上高：下振れ (5,470→5,060, ▲410)

- 機能品 690 → 650, ▲40
- 樹脂・化成品 3,400 → 3,010, ▲390
- その他 730 → 750, +20

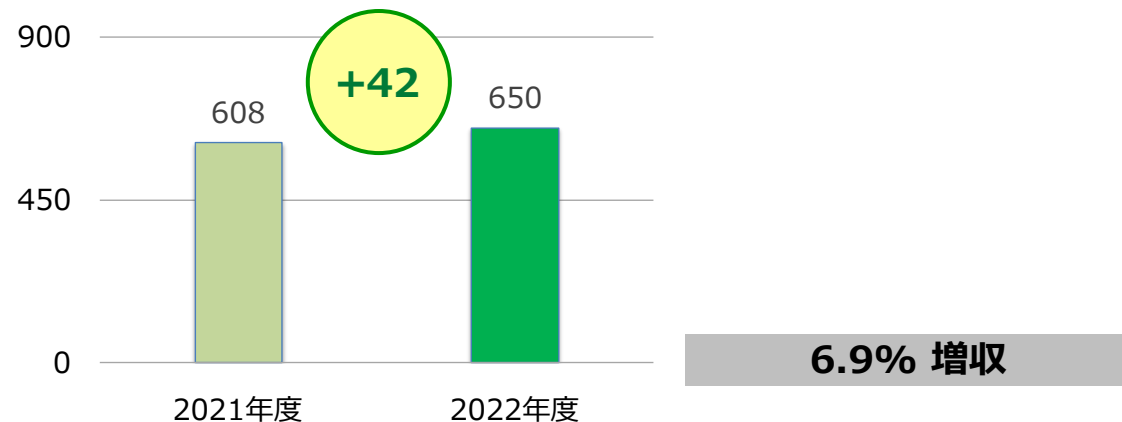
営業利益：下振れ (290→200, ▲90)

- 樹脂・化成品 125 → 40, ▲85
- その他 30 → 25, ▲5

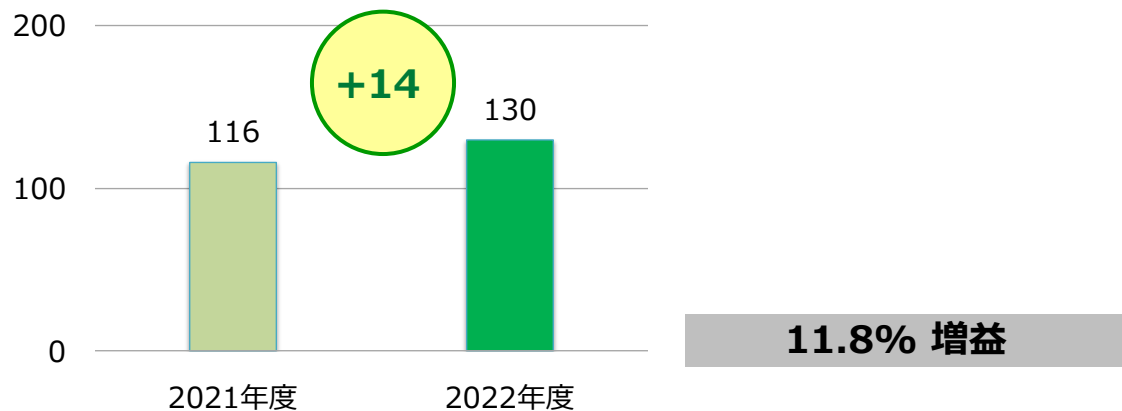
差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



10月28日に公表した業績予想からの修正

売上高：下振れ (690→650, ▲40)

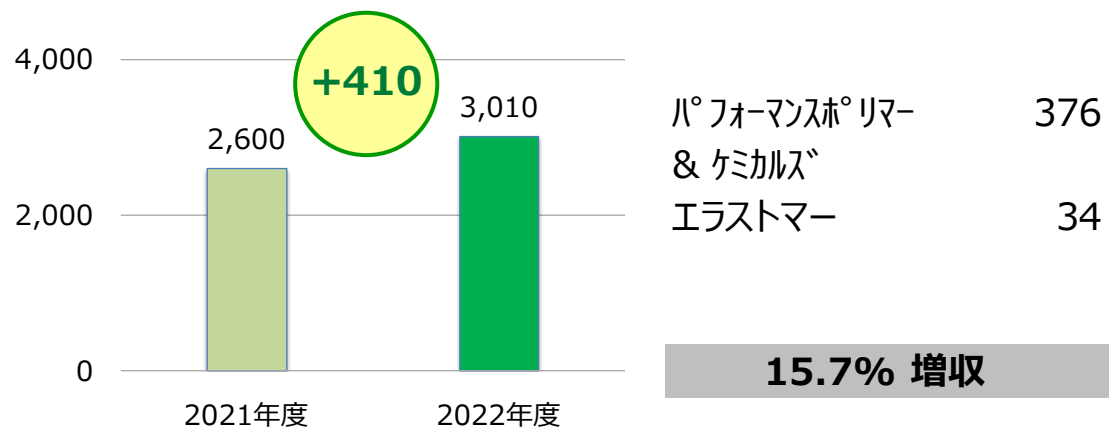
- セパレータおよびフェノール樹脂の販売減
- 分離膜およびセラミックスの販売好調

営業利益：修正なし

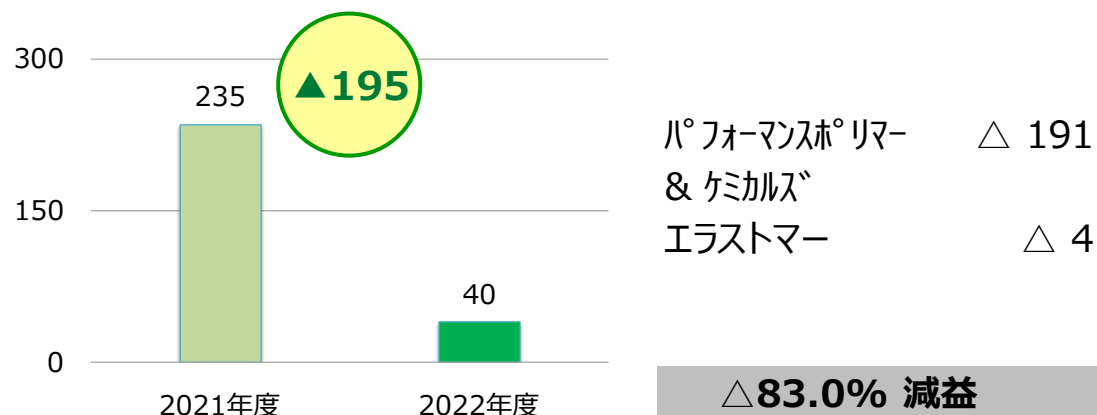
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



10月28日に公表した業績予想からの修正

売上高：下振れ (3,400→3,010, ▲390)

- ・ ナイロンポリマー・カプロラクタムなどの販売数量減

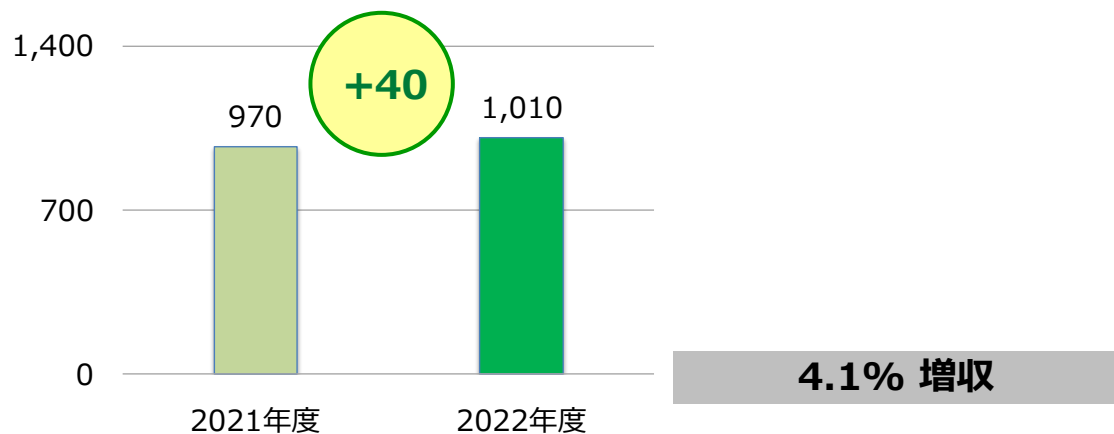
営業利益：下振れ (125→40, ▲85)

- ・ ナイロンポリマー・カプロラクタムなどの販売数量減および価格スプレッド縮小

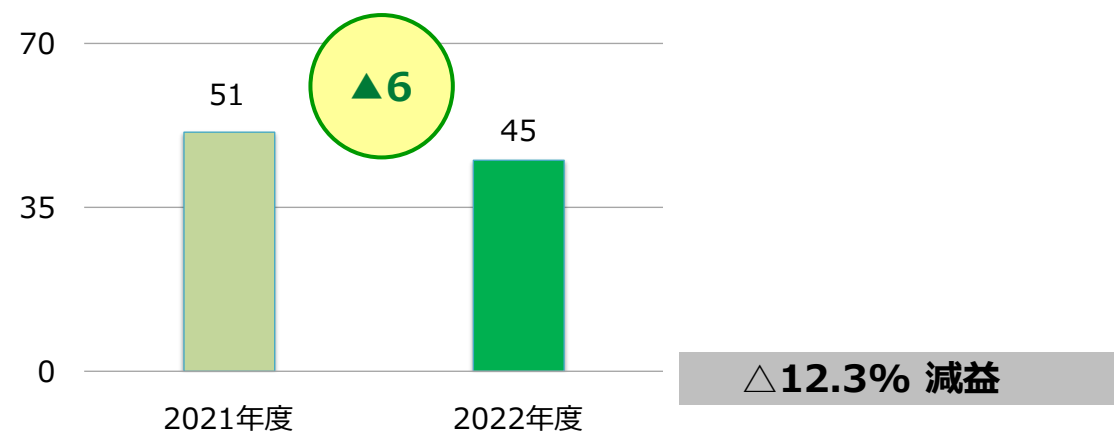
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



10月28日に公表した業績予想からの修正

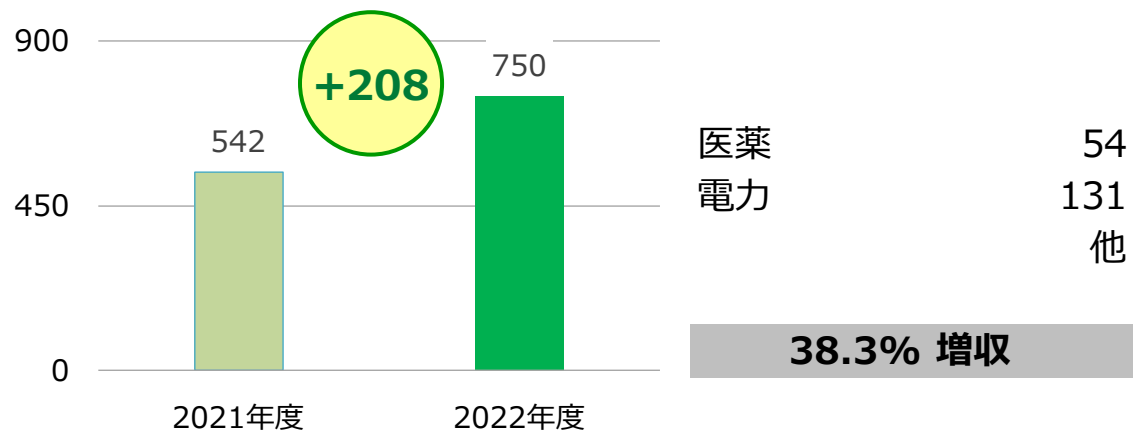
売上高：修正なし

営業利益：修正なし

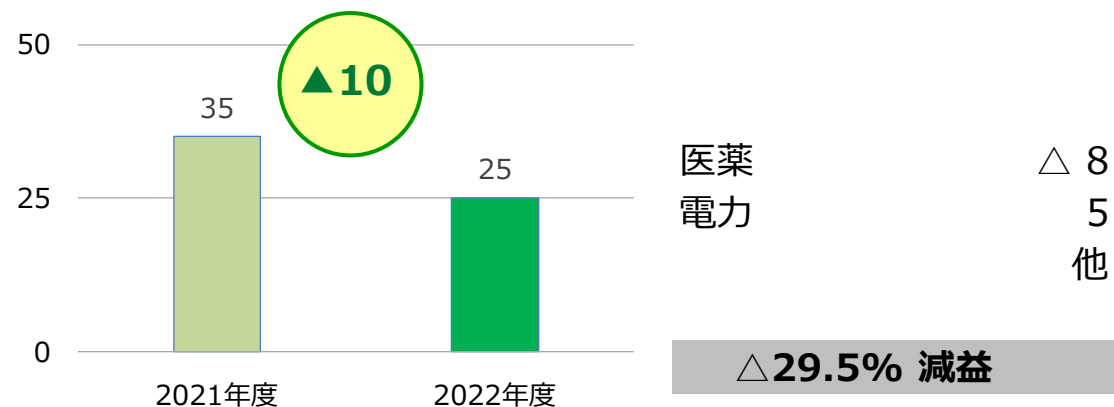
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



10月28日に公表した業績予想からの修正

売上高：上振れ (730→750, +20)

- エーピーアイ社を連結子会社化

営業利益：下振れ (30→25, ▲5)

- その他

営業利益～当期純利益

(単位：億円)

項目	2021年度 (A)	2022年度 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	440	200	△ 240
営業外損益	△ 25	△ 260	△ 235
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益		△ 260	
経常利益	415	△ 60	△ 475
特別損益	△ 48	60	108
税金等調整前当期純利益	368	0	△ 368
法人税等・非支配株主利益	△ 123	△ 60	63
親会社株主に帰属する当期純利益	245	△ 60	△ 305
1株当たり当期純利益	249.31円	△ 61.88円	△ 311.19円

參考資料

業績予想 差異 売上高

(単位：億円)

セグメント	2022/10/28 発表業績予想 (A)	2023/2/3 発表業績予想 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	690	650	△ 40	
樹脂・化成品	3,400	3,010	△ 390	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 380 エラストマー △ 10
機械	1,010	1,010	—	
その他	730	750	20	医薬 50 他
調整額	△ 360	△ 360	—	
計	5,470	5,060	△ 410	

業績予想 差異 営業利益

(単位：億円)

セグメント	2022/10/28 発表業績予想 (A)	2023/2/3 発表業績予想 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	130	130	-	
樹脂・化成品	125	40	△ 85	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 95 エラストマー 10
機械	45	45	-	
その他	30	25	△ 5	
調整額	△ 40	△ 40	-	
計	290	200	△ 90	

営業利益 差異分析 一覧

(単位：億円)

セグメント	営業利益					
	2021年度 第3四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	価格差 *1	数量差	固定費ほか *2
機能品	88	85	△ 3	△ 5	1	1
樹脂・化成品	178	33	△ 146	△ 31	△ 61	△ 53
機械	32	26	△ 6	1	△ 3	*3 △ 4
その他	16	17	1	5	7	△ 10
調整額	14	△ 31	△ 45	-	-	△ 45
計	328	130	△ 199	△ 30	△ 56	△ 113

*1:資材単価差含む *2:在庫評価差、低価法影響含む *3:内、機械部門限界利益 0

主要項目 進捗率

(単位：億円)

項目	2021年度 (A)		2022年度 (B)		差異 (B) - (A)	
		第3四半期実績 (進捗率)		第3四半期実績 (進捗率)		第3四半期実績
売上高	6,553	4,766 (72.7%)	5,060	3,684 (72.8%)	△ 1,493	△ 1,082
営業利益	440	328 (74.6%)	200	130 (64.9%)	△ 240	△ 199
経常利益	415	306 (73.7%)	△ 60	△ 33 (-%)	△ 475	△ 339
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	245	181 (73.9%)	△ 60	△ 12 (-%)	△ 305	△ 193

売上高 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2022年度					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	153	165	156	—	474	650	72.9%
樹脂・化成品	714	780	757	—	2,252	3,010	74.8%
機械	203	249	240	—	693	1,010	68.6%
その他	156	178	173	—	506	750	67.5%
調整額	△ 65	△ 86	△ 91	—	△ 241	△ 360	—%
計	1,162	1,286	1,236	—	3,684	5,060	72.8%

営業利益 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2022年度					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	28	27	30	—	85	130	65.5%
樹脂・化成品	19	5	9	—	33	40	82.0%
機械	4	9	14	—	26	45	58.0%
その他	7	6	5	—	17	25	68.6%
調整額	△ 14	△ 5	△ 13	—	△ 31	△ 40	—%
計	44	42	45	—	130	200	64.9%

売上高 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2022年度 第2四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	165	156	△ 8	
樹脂・化成品	780	757	△ 23	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 28 エラストマー 5
機械	249	240	△ 9	
その他	178	173	△ 5	医薬 6 電力 △ 1 他
調整額	△ 86	△ 91	△ 4	
計	1,286	1,236	△ 50	

営業利益 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2022年度 第2四半期 (A)	2022年度 第3四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	27	30	3	
樹脂・化成品	5	9	4	エラストマー 3 他
機械	9	14	5	
その他	6	5	△ 1	
調整額	△ 5	△ 13	△ 8	
計	42	45	3	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位：億円)

	ポートフォリオ	2022年度	2022年度	進捗率
		第3四半期 (A)	通期予想 (B)	
売上高	スペシャリティ事業	1,006	1,450	69.4%
	ベーシック事業	1,825	2,400	76.0%
	機械事業	693	1,010	68.6%
	その他（調整額を含む）	160	200	79.8%
	計	3,684	5,060	72.8%
営業利益	スペシャリティ事業	149	215	69.4%
	ベーシック事業	△ 19	△ 25	—
	機械事業	26	45	58.0%
	その他（調整額を含む）	△ 27	△ 35	—
	計	130	200	64.9%

UBE三菱セメント

■ UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位：億円)

項目	2022年度 第3四半期	2022年度 通期予想
売上高	4,496	5,920 (6,575)
営業利益	△242	△280 (△235)
経常利益	△224	△260 (△225)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	△333	△530 (△495)

()は2022/11/4に発表した予想

■ UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資損失	△158	△260
------------	------	------

- ・ 熱エネルギーコスト急騰に伴うセメント値上は、完遂した期初値上(+2,200円)の交渉が長引いたことにより、追加値上(+3,000円)の獲得は遅れているものの、早期獲得に向けて交渉中。
- ・ 廃棄物利用拡大、省エネ対策などの収益改善を推進。
- ・ 米国セメント・生コン事業は前年を上回る販売数量を確保しており、またエネルギーコストや原料費等の高騰に対し価格転嫁を実施。

■ UBE三菱セメント(株) 環境要因

項目	2022年度 第3四半期	2022年度 通期予想
セメント(国内総需要) (万t)	2,859	3,800
セメント(国内)販売数量 (万t)	701	918
セメント(米国)販売数量 (万st)	131	171
生コン(米国)販売数量 (万cy)	548	706
石炭価格 (\$/t)	392	393
ドル為替レート (円/ドル)	137	134

(参考) 2022年度 第3四半期実績 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	7,876	有利子負債	2,080	自己資本	3,360
自己資本比率	42.7%	D/Eレシオ	0.62倍		

連結主要指標

(単位：億円)

項目	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	2022年度通期 <予想>	2021年度通期
設備投資	236	193	390	396
減価償却費	271	189	240	365
研究開発費	85	76	110	118
事業利益	329	△ 8	△ 25	433
有利子負債残高	2,158	2,227	2,250	2,418
自己資本	3,566	3,666	3,600	3,691
総資産	7,941	7,481	7,500	8,380
D/Eレシオ (倍)	0.61	0.61	0.63	0.66
自己資本比率(%)	44.9	49.0	48.0	44.1
売上高営業利益率(%)	6.9	3.5	4.0	6.7
総資産事業利益率(%)	—	—	—	5.4
自己資本当期純利益率(%)	—	—	—	6.7
従業員数 (人)	10,942	8,109	8,100	9,849

主要連結子会社

(単位：億円)

会社名	事業内容	売上高 2022年度 第3四半期	営業利益 対2021年度 第3四半期
UBE Corporation Europe, S.A. Unipersonal	ナイロン、カプロラクタム、硫安、ファイン製品の製造・販売	566	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	ナイロン、カプロラクタム、硫安の製造・販売	400	↓
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエンゴムの製造・販売	137	→
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	81	↓
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	96	↓
UBEMASHINARI株式会社	成形機・産業機械・橋梁などの製造・販売・サービス	345	→
株式会社宇部スチール	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	245	↓

(注) ↑ ↓ は 1 億円以上の増減を示す

2022年度 通期決算発表 および 2023年度 経営概況説明会

- **2022年度 通期 決算発表**
 - 5月12日 15:00

- **2022年度 通期決算 アナリスト・機関投資家向け電話会議**
 - 5月12日 18:00 ~ 19:00

- **2023年度 経営概況説明会**
 - 5月23日 10:00 ~ 11:30

尚、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。